

第34回全道自治体職員等女子バレーボール選手権 全道優勝大会 in 帯広

大会速報



第6号 2012. 7. 15 発行: 帯広市役所労働組合連合会 フードバレーとかち

帯広市開拓130年、市制施行80年記念後援事業

決勝2日目トーナメント始まる！！

決勝トーナメント A-1			
美唄市職労	2	0	石狩市職労
	$\begin{pmatrix} 22 - 15 \\ 21 - 11 \end{pmatrix}$		



第1セット
中盤までもつれあうも終盤、美唄市職労の3番安成のアタック、サービスエースで引き離し勝利。
第2セット
石狩市職労の2番藤本のアタックで得点を入れるもミスが目立った。第1セット同様美唄市職労の3番安成のアタックで得点を重ね勝利する。

決勝トーナメント B-1			
札幌市職連	2	0	北見市労連
	$\begin{pmatrix} 21 - 4 \\ 21 - 9 \end{pmatrix}$		



一方的な試合展開となった。
1セット目序盤立ち上がり制したのは札幌市職連、14番川村のアタックを軸に攻撃を展開。
第2セットの立ち上がりでは、札幌市職連のコンビネーションの乱れを北見市労連が流れを引き寄せると思われたが終盤クイック、フェイントなど多彩な攻撃により実力の差を見せつけた。

決勝トーナメント A-2

浦河町職労

0 $\left(\begin{array}{l} 8 - 2 1 \\ 7 - 2 1 \end{array} \right)$ 2

帯広市労連

第1セット 帯広市労連は序盤から9番河瀬にボールを集めて一方的に攻撃を仕掛け3-5-3連続ポイントで一気に差を広げた。浦河町職労は1番宇田と10番能登を軸に攻撃し1回目のタイムアウトの後、2連続ポイントとまき返しを図ったが終盤の相手の7連続ポイントで力尽きた。

第2セット 勢いの止まらない帯広は第2セットも序盤から飛ばし、連続ポイントで相手を突き放した。右からの2番鳴海のスパイクが8回も決まり相手を圧倒した。

浦河は10番能登の強烈なスパイクで反撃をかけたが1番宇田のスパイクもブロックにつかまり苦しい戦いとなった。



決勝トーナメント B-2

別海町職

2 $\left(\begin{array}{l} 1 0 - 2 1 \\ 1 3 - 2 1 \end{array} \right)$ 0

苫小牧市職労

序盤は両チームともエンジンがかからない試合展開、4対4から苫小牧7番田島のサーブが別海のミス誘いを6連続ポイントで相手を突き放す。その後も得点を重ねて21対10で1セット目を取る。

第2セットは立ち上がりは、別海2番新井田のサービスエースによりこの試合初めてリードするが、苫小牧10番中村のサーブにレシーブが乱れ6連続ポイントを奪われる。9対19と劣勢の中、別海5番松本のブロックを皮切りに追いつがるも最後は力及ばず苫小牧が21対13で勝利した。

